

昨今の物価高の中で、「物価上昇を上回る賃金上昇を目指す」というニュースをよく耳にしますが、私たちの住む山口県（山口市）の状況はどうでしょうか。

本県が公表している、毎月勤労統計調査結果から賃金の動向をグラフで見てみましょう。

まず、「名目賃金」とは、労働者が実際に受け取った賃金のことですが、この額から物価上昇の影響を除いて導き出されるものが「実質賃金」であり、「名目賃金÷物価上昇」により算出され、実際の購買力の実態を示す指標となっています。

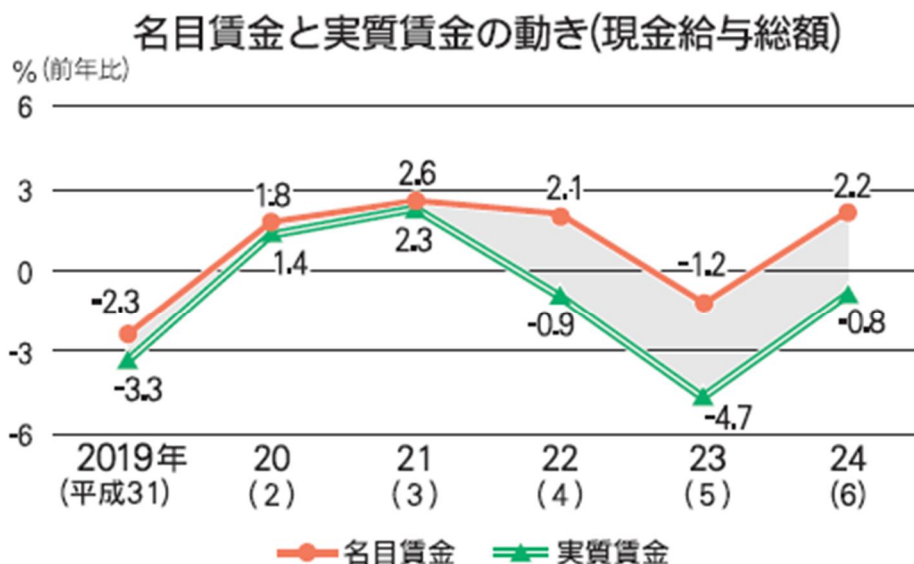
グラフは、近年の名目賃金と実質賃金の前年比（指数値）を比較したもので、両者は概ね連動した動きとなっていますが、令和 4 年以降は名目賃金に比べ実質賃金が大きく低下していることや、名目賃金は前年同月比プラスの傾向であることに對し、実質賃金は令和 4 年以降マイナスとなっていることが読み取れます。

これは、賃金が増えても、物価の上昇率が大きく、実質賃金が伸び悩んでいる状態であり、家計への圧迫感をデータで示したものとなります。

私たちの生活水準の維持・向上には、本来の意味で賃金が増える実質賃金の増加が必要です。

なお、本県の賃金水準が伸び悩んでいる他の要因として、パートタイム労働者比率の上昇がありますが、これについては、次回で紹介します。

県では、「毎月勤労統計調査結果」をホームページで公表し、過去からの長期時系列データを掲載していますので、どうぞご利用ください。



出典:山口県「毎月勤労統計調査地方調査結果」(事業所規模5人以上・調査産業計)